

コクワガタ

ワーちゃんとくらした

600日

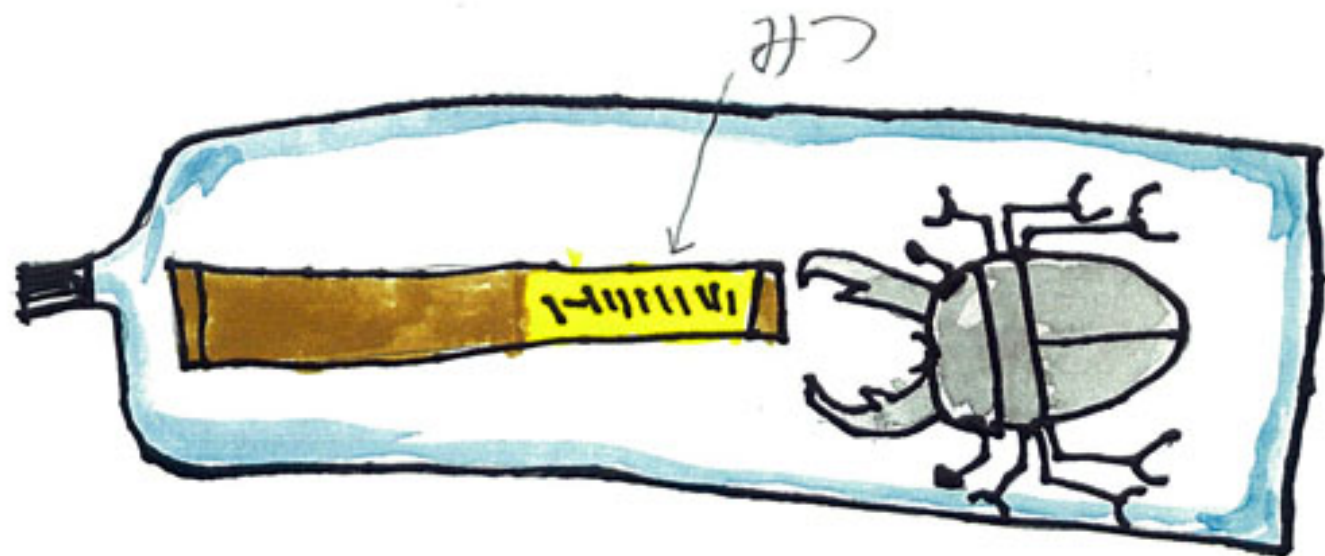


江上大知

2012年8月25日

はじめに

この物語は、「りーちゃん健康ノート」
(2010年11月～2012年3月)をもとにへ
ん集したものです。
小学2年生、3年生の時の実話です。
ぜひ読んで下さい。



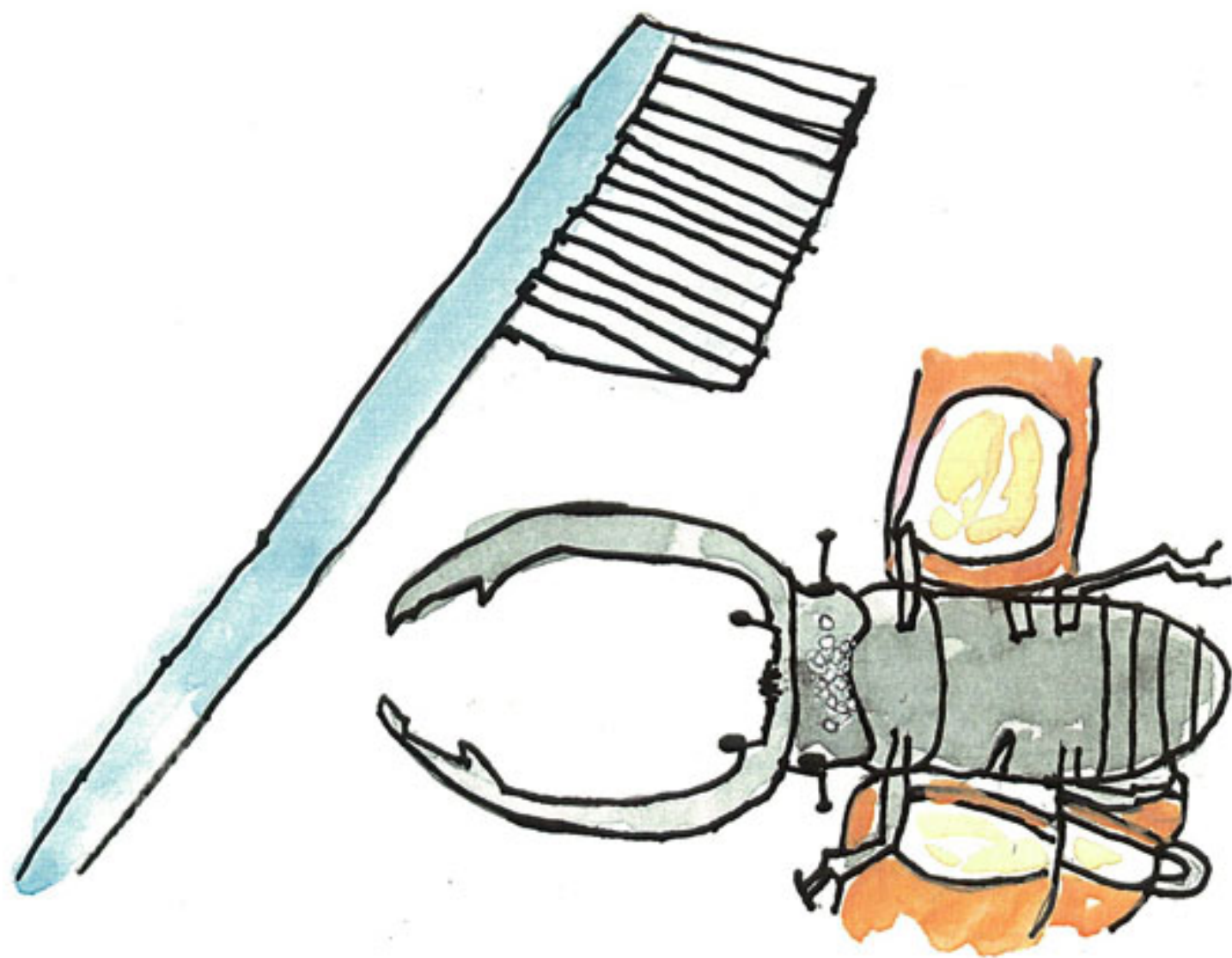
「えっー。コクワガタをくれるの。ありがとう
ございます。」

2010年8月のある日、岐阜でおじいちゃん
のお友達の佐伯さんから、ペットボトルに入
ったコクワガタをいただいた。

体長4.3cmのオスのコクワガタだった。

僕は、そのコクワガタをクワガタの「クー」
と名付けた。

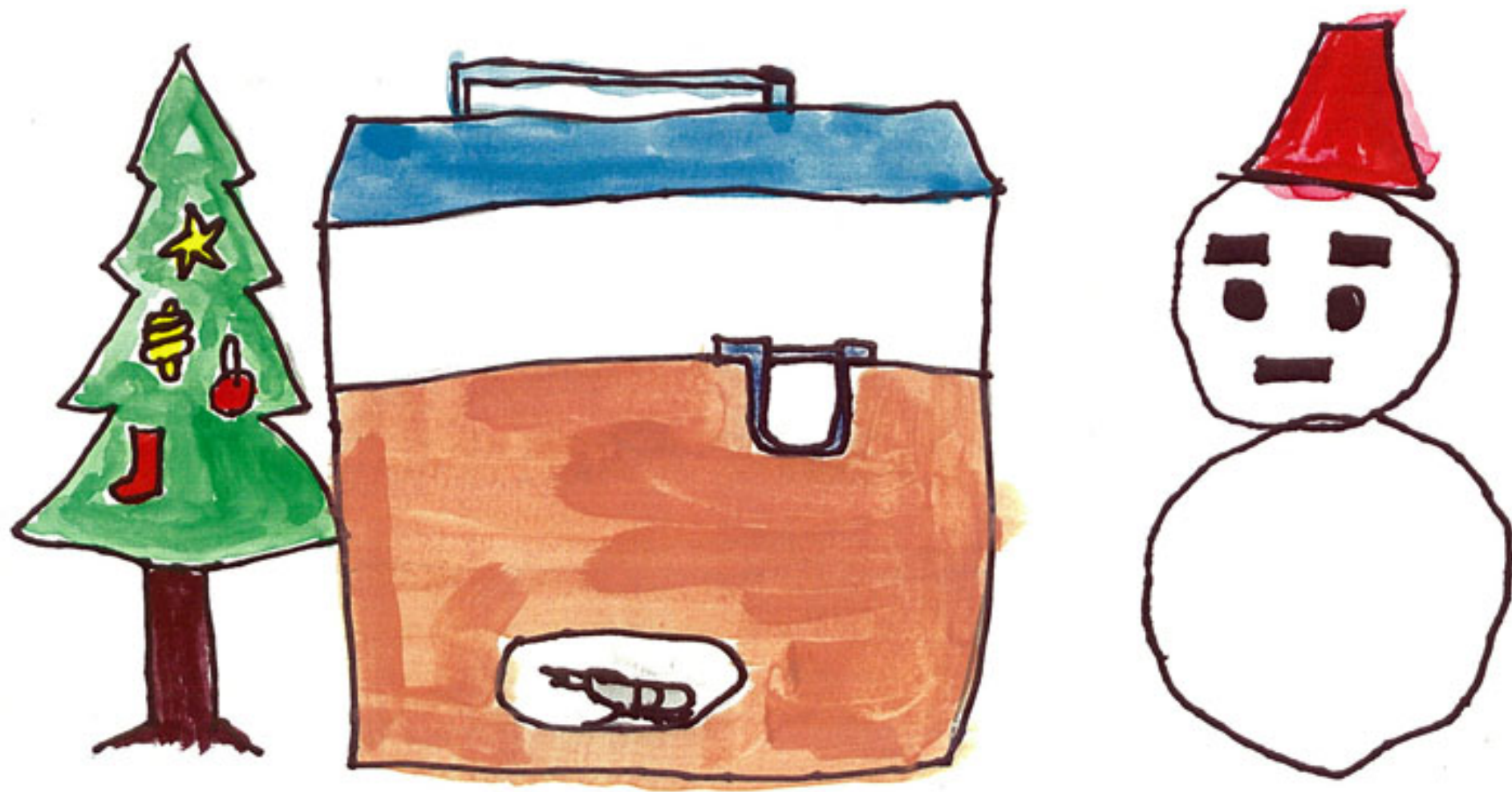
8月末、東京まで持って帰って、飼ってみる
ことにした。



11月、木枯し一号が吹いて、だんだん寒くな
って来た。その夏、飼育していたヒラタワワ
がタの「花」とカブトムシたちは、死んでい
た。クーちゃんも、元気に動いていたけど、
白いブツブツ(ダニ)がついてきた。

僕は、図鑑に「コワワカタは越冬して2〜3
年生きる」と書いてあったので、「本当かな
クーちゃんも、どうだろう」と思った。
そして、白いブツブツは、「ダニ」(ワワカ
タナカセ)で、歯ブラシなどで落とした方が弱
くならないと書いてあったので、時々歯
ブラシで落としてあげた。

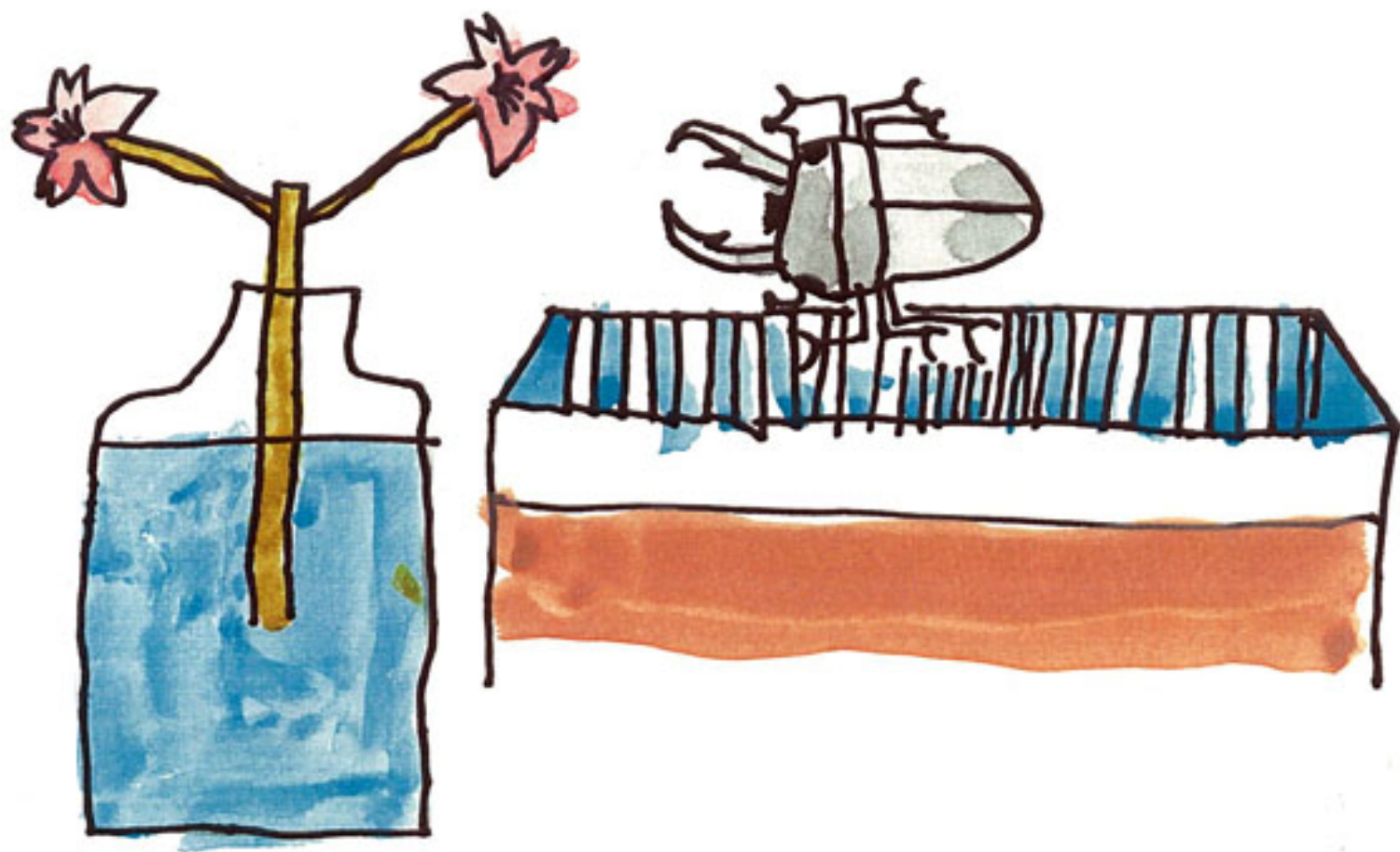
初めてダニがついた時は、30匹ほどだった。
お母さんが、ダニ予防スプレーを買ってくれ
たが、相変わらずダニはついた。



ワーちゃんは、冬になると土にもぐるように
なった。冬越しし始めたと思った。なるべく
そっとしておいた。

だけど僕は、生きているか心配だった。たのて時
々、土を掘り返して霧吹きで水をかけて生き
ているかどうか確認した。水をかけると、わ
ずかに動くからだ。

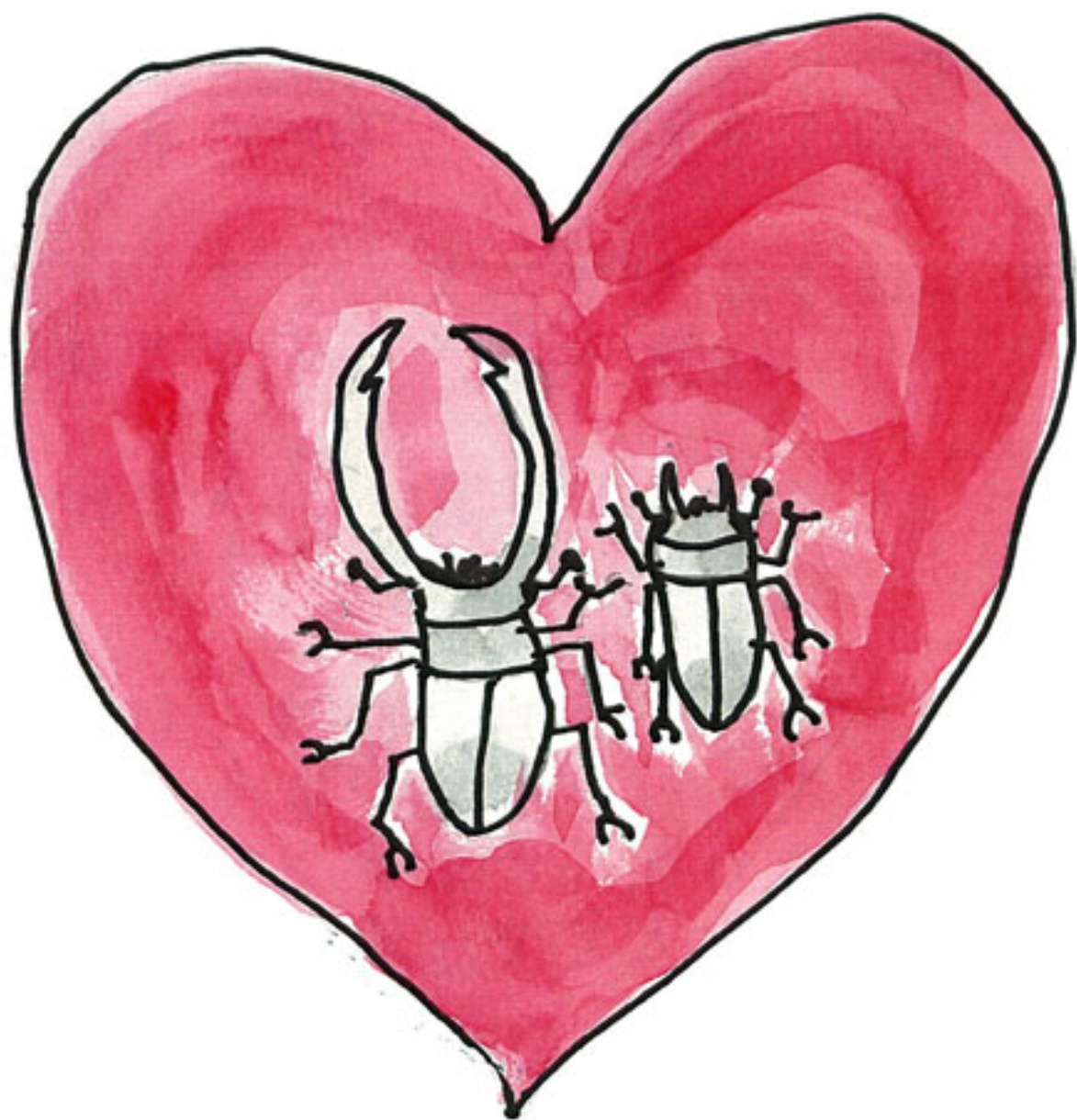
ダニは少し減っていた。



2011年3月5日、ワーちゃんが今年初めて昆虫ゼリーを食べていた。それまで2〜3回程、土の中から出て「落葉の布団」の上を歩いたが、ゼリーを食べたのは、この日が初めて。霧吹きもかけておいた。次の日は、冬眠している虫たちが出てくる「啓蟄の日」でもある。

2011年4月、ワーは土の中から出て、地表での動きが活発になった。公園から桜と踊子草をつんで来て、ワーに見せてあげた。ワーはきょうみ深々に見ていた。まるでお花みをしているようだった。

ダニは少し増えていた。



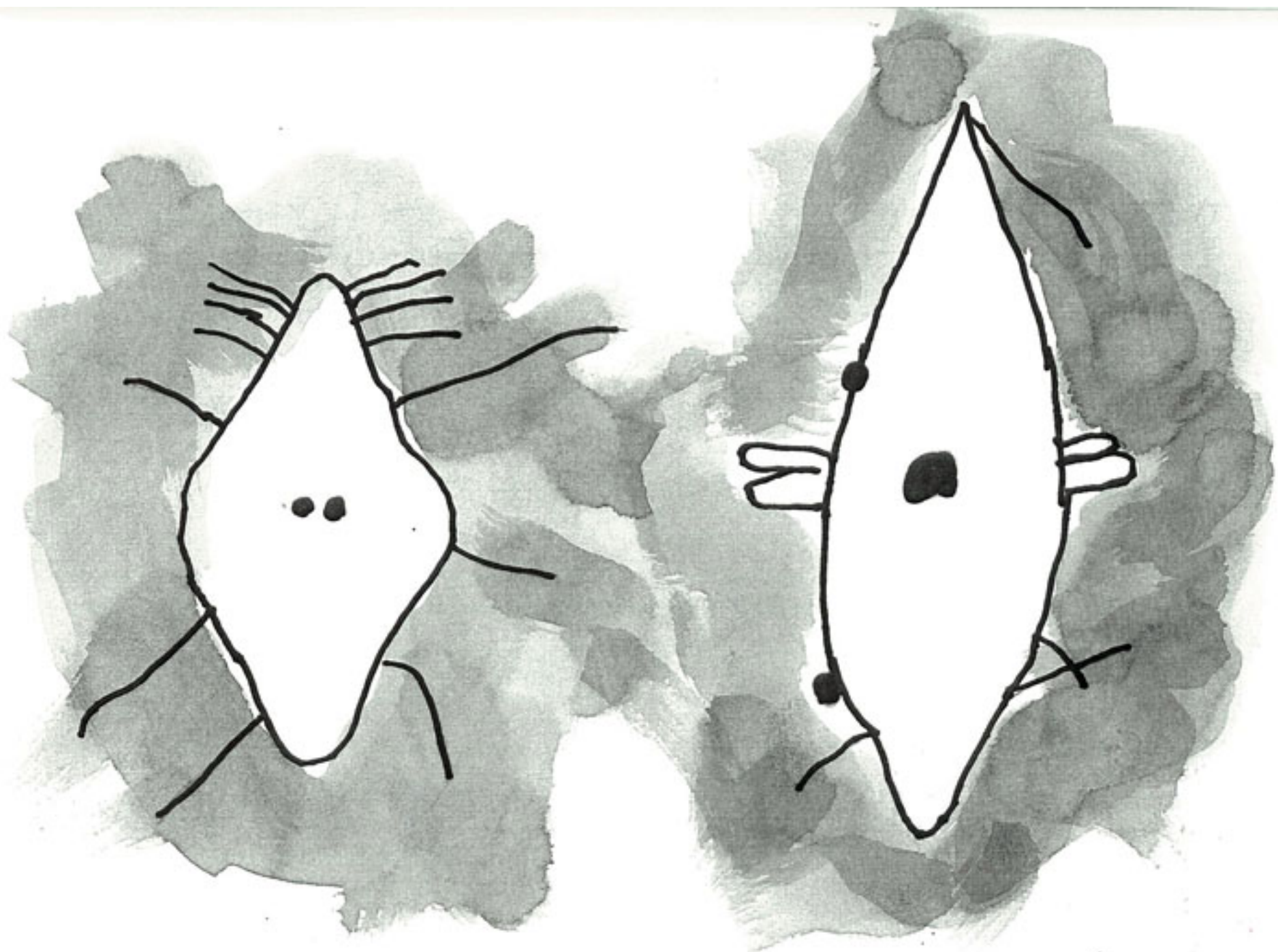
2011年7月、夏休みに入り、僕はクを生まれて
た岐阜へ一年ぶりに連れていった。

そうしたら、ダニが少なくなかった。僕は「不
思議だなあ」と思った。

佐伯さんにも見せてあげたら、うれしそうに
手にのせてくれた。

クーは、白い昆虫ゼリーが大好き。他の色に
するとあまり食べない。会社の違う白いゼリ
ーだ。たら食べる。白いゼリーには、クワが
タの好きな成分が含まれているのだと思った。

2011年8月ワーはお嫁さんをもらった。たま
たま、おじいちゃんの家の前道路にへばり
ついていたXスのコワカタだ。名前は「ワー
子」と名付けた。大きさも変わらなかつたの
で、コワカタのXスで、きつといい夫婦に
なるだろうと思つて一緒にした。仲良くなる
かな？ たまごを産むかな？



2011年秋。

ワーとワー子は仲良くなれなかった。飼育ケースの中で「おにぎりこ」をしていて、ワー子は、苦しそうだった。

ダニは、ワー子にも3〜4匹ついていた。
ワーからワー子に移ったのかな？

ダニは、ワーには、去年よりもびっしりついて
いた。

ダニがどういう形をしているか調べたかった
ので、絵筆でワーちゃんの背中をこすって黒

い折紙に白いブツブツを落とした。通っている実験教室で顕微鏡を貸してもらってのぞいてみた。うつ程の白いブツブツのうち2つ生き物らしき形をしていた。

二匹とも体の形は一緒ではなく、一匹は丸っこく、もう一匹は細長く見えた。全体の色は白っぽかった。

クーちゃんの体には、少なくとも二種類のダニがっている事がわかった。



2011年12月

ワーちゃんにとって2回目の冬に入っ た。

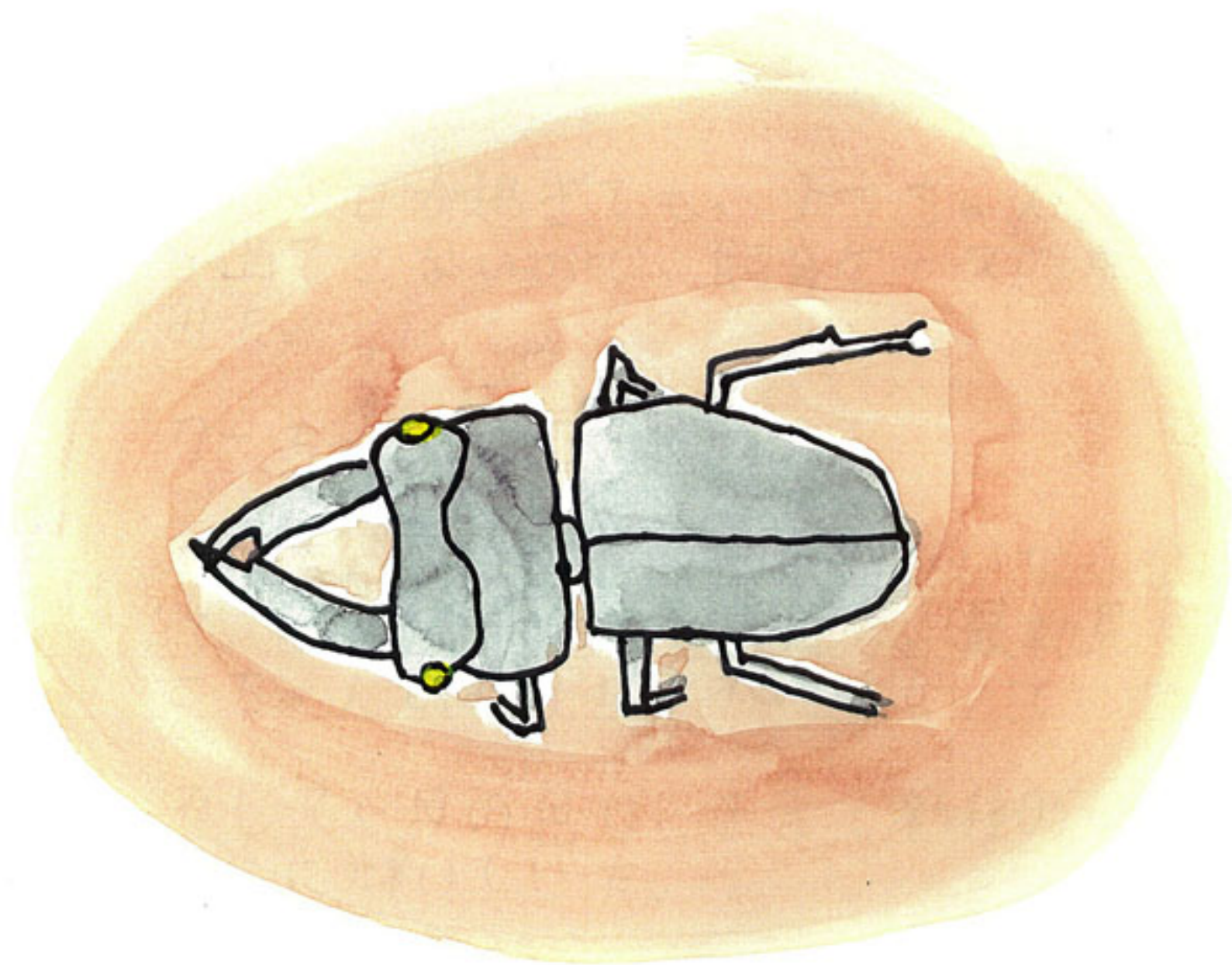
ワー子ちゃんとその夏いた^だいたノコギリワ
ワカタは死んでしまっ た。

ワーちゃんはエサを食べていた。ダニはま
ます増えて、体の節目が見えなくなっ ていた。

結局、ワーちゃんとワー子ちゃん^は相性はあ
って^いな^かった。日本昆虫協会の先生方が教
えて^くだ^さったように、ワー子ちゃんはヒ
タワワカタ^だった^と思う。観察してみたら前

足が少しまがっていた。

やはり種類が別だと、相性が合わないのかな。
土の中も朽木も全部見たけど、たまごは無か
った。「ヒラコワワガタ」(ヒラタワワガタ
+コワワガタ)は、無いのかと思った。



2012年3月。

啓蟄の日が過ぎても、ワーちゃんが土の中から出てこないのので、飼育ケースの中を探してみた。

ワーちゃんは死んでいた。

ワーちゃんから、ダニは全くいなくなっていて、体の節目がよく見えた。最初見た時のワーちゃんのようにきれいになっていた。

そして、目の色は、まるで新種のワワガタのように光っていた。

ワワカタが死んでしまっ。たう、ダニも死んで
しまふのだらうか。

ワーちゃんは、僕が今まで飼育した昆虫の中
で一番長生きをした昆虫。そして、初めて
ダニがついた昆虫。

ダニは、ワーちゃんにと。て、五箇公一先生
がおっしゃっていたように、「掃除屋さん」
で「益虫」だ。たと思う。だから長生きでき
たかもしれない。

ワーちゃん、長生き本当にありがとう。

おわり

ワワカタが死んでしまっ。た、ダニも死んで
しまふのだから。

ワーちゃんは、僕が今まで飼育した昆虫の中
で一番長生きをした昆虫。そして、初めて
ダニがついた昆虫。

ダニは、ワーちゃんにと。て、五箇公一先生
がおっしゃっていたように、「掃除屋さん」
で「益虫」だ。たと思う。だから長生きでき
たかもしれない。

ワーちゃん、長生き本当にありがとう。

おわり